

令和4年11月1日発行 第7号

学校教育目標「認めあう」

●志 抱いて 学びあい ●豊かな心で 思いあい ●元気にスポーツ 鍛えあい



二中だより

松伏町立松伏第二中学校

〒343-0115 北葛飾郡松伏町上赤岩 711

<http://matsubushi.ed.jp/matu2tyu/>

TEL 992-0051

発行責任者 校長 渡邊 康弘



この一冊にありがとう

校長 渡邊 康弘

最近では季節の移り変わりがとても急で、猛暑の夏がつい最近まで続いていたと思っていたら、朝晩はかなり冷え込み、秋を通り越して冬が近づいているようです。そのような中、好天に恵まれ、先月の体育祭・しらさぎ祭において、たくさんの保護者にご来校をいただき、ありがとうございました。「素晴らしい合唱で感動しました」「全学年の合唱を体育館で聴きたかった」「授業参観もお願いします」などの意見をいただきました。今後、検討をしていきます。

さて、秋と言えば食欲の秋、紅葉の秋、実りの秋、行楽の秋、スポーツの秋、芸術の秋など、たくさんの秋を想像することができますが、下校時刻が早くなった11月は読書の秋でたくさんの本を読むのはいかがでしょうか。読書の秋の由来は、中国の唐の時代の文人が残した詩の中に「秋の夜は過ごしやすいため、灯りをつけて読書をするのに一番適した季節」という一節があり、そこから始まったそうです。秋は陽が落ちる時間が早く、夜が長い。そして秋の夜は涼しくてとても気持ちがいい。こんなに過ごしやすいい夜には、静かに読書をするのが一番！「読書の秋」とはよく言ったものですね。

日本では終戦まもない1947年に第1回読書週間が開催されました。「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という志のもと、出版社や書店、公共図書館を中心に、新聞社や放送局なども協力して11月17日～23日の1週間行われたそうです。翌年の第2回からは期間を延ばし、文化の日を中心に10月27日～11月9日の2週間として現在に至っています。また、春には4月23日を「子ども読書の日」、4月23日～5月12日を「こどもの読書週間」と定めています。さらに、6月11日を学校図書館の日として青少年の読書活動を推進するように全国で取り組んでいます。今年の読書週間の標語は「この一冊に、ありがとう」です。

素敵な本に出合えるといいですね。

学校図書館を訪ねてみると、新刊本が毎年たくさん入っていて、生徒にわかりやすいように配架してあります。また、1階の昇降口付近には本と椅子が置いてあり、気軽に読めるようになっています。学校の始まりは毎日の朝読書です。静かに読書することは、自分の心が成長することにつながります。皆さんの本を読んで心を耕してください。

